

## 会 議 録

会 議 名	2025 年度第 2 回東浦町中央図書館協議会	
開 催 日 時	2026 年 3 月 27 日(金) 午後 3 時 00 分から午後 4 時 20 分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館 2 階 大会議室	
出 席 者	委員等	成田幸治氏、真山恵氏、浅井真司氏、座光寺美砂子氏、小田薫氏、月原康雄氏、柏木由里子氏 1 名欠席
	事務局 (ふくし文化 部学び支援課、株 式会社図書館 流通センター)	関学び支援課長、植田生涯学習係長、長谷川主事、平野主事、大西館長、平松副館長、石神サブチーフ  原田ふくし文化部長欠席
議 題 (公開又は非公開の別)	1 2025 年度中央図書館事業報告について(資料 1) (公開) 2 2026 年度事業計画(案)について(資料 2) (公開) 3 その他(公開)	
傍聴者の数	0 名	
審 議 内 容	<p>◆図書館長 会議の成立について報告する。 次第に従って会を進める。</p> <p>◆学び支援課長(挨拶)</p> <p>◇委員長(挨拶)</p> <p>以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議題 3 議事(1)「2025 年度中央図書館事業報告について」を議題として、事務局からの説明を求める。</p> <p>◆事務局 資料 1 にもとづき、議題 3 議事(1)「2025 年度中央図書館事業報告について」を説明する。</p> <p>◇委員長 事業報告を一時中断し、委員の質疑を募る。</p> <p>◇委員 よむらび文化祭③ハッピーハロウィン! 仮装おはなし会について詳しく聞きたい。</p>	

◆事務局

当イベントは今年度で2回目の開催となる。リピーターや兄弟など、20名くらいの子どもたちが参加した。演者も参加者も仮装をし、英語の本の読み聞かせと工作を行った。またよむらびと写真撮影も行い、楽しい会となった。

◇委員

英語の絵本を子どもたちはどのように聞いていたか。

◆事務局

子どもたちは英語がわからないながらも、絵や話者の身ぶりなどを併せて理解しようとしてしっかり聞いていた。参加者とコミュニケーションをとることで、難しい本もよく聞いてくれた。

◇委員

図書館のアウトリーチについて注目している。人が読み聞かせすることは絶大な効果があると思われる。

あしがすき保育園で読み聞かせをしているとあるが、保育園でも嬉しく思っているのではないか。他の保育園でも読み聞かせをしてはどうか。

また、どのような経緯であしがすき保育園で行っているのか。

◆事務局

公立保育園にも同様に読み聞かせを行っていることを案内している。

あしがすき保育園については、園長先生に図書館の講座の講師を頼んでいることがきっかけで図書館とつながりがあり、定期的におはなし会の申込みをいただいている。

◇委員

他の保育園にも出張おはなし会をアピールしてはどうか。

◆事務局

図書館を活用していただけるよう周知の活動に努める。

◇委員

読書感想文・感想画について、今年度より賞を少し変更したという説明があったが、読書感想文の賞に最優秀賞がなくなったのは変更によるものか、そうではなく該当作品がなかったためか。

◆事務局

読書感想文が夏休みの必須課題ではなくなって以降、応募数が大幅に減少したという経緯があり、入賞者数の見直しを行った。入賞者数の見直しにともない感想文の最優秀賞と久松潜一賞を統合し、久松潜一賞を最優の賞とした。該当する作品がなかったわけではない。

◇委員

感想画の中学生は3名応募があり、3名とも入賞したということか。

◆事務局

3名応募があり、3名とも入賞した。

◇委員

ゆめらびクラブの活動について詳しくお伺いしたい。

◆事務局

9月から事業を開始し、広報活動を行ったが申込状況は芳しくなく、図書館から東浦町総合ボランティアセンターなないろに周知協力を仰ぎ、所属する2団体から申込みいただいた。

今回ゆめらびクラブのイベントを開催した基楽については、まなびっこひがしうらであいさつする機会があったので、そこで事業について説明することができていたのが大きい。

現在、人づてに聞いたという方とHPを見たという方の2名からそれぞれ、絵の個展とプログラミングの申し込みがある。

◇委員

発表したい人がたくさんいるのではないだろうか。

◆事務局

来年度はさらに活動を広げるべく、年間4回開催を目標とし、広報を続ける。また、事業を進めるなかでの口コミ効果にも期待したい。

◇委員長

IC導入の効果について。貸出手続き確認ゲートで止められる利用者はいるか。

◆事務局

貸出手続き確認ゲートが作動する原因は、ICによるセルフ貸出機の貸出手続き漏れや手続き忘れである。現在のところ意図的に資料を持ち出そうとした利用者はいない。

◇委員長

図書館では一時期不明本が多かったと記憶しているが、確認ゲート導入後いかがであるか。

◆事務局

今年度の不明本は20冊程度におさまっている。確認ゲート導入後の蔵書点検は未実施であるが、一定の効果がみられると期待されている。

◇委員長

リサイクル本の譲渡率が高いとあるが、リサイクル会期間中にすべての資

料を譲渡したのか。

◆事務局

本・雑誌のリサイクルフェアの開催日は土日に設定し、大会議室で行っているが、ある程度リサイクル本が減ったら多くの利用者の目に留まるよう、1階に本を移動させて利用を促している。報告にあるのはこの時点の実績値である。それでも残ってしまった数十冊～数冊の本についても、常設のリサイクルコーナーで引き続き町民へ還元できるようにしている。東浦町では他市町に比べ、とても譲渡率が高く、最終的にはほぼすべてのリサイクル本が譲渡されている。

◇委員長

議題3 議事(1)について締め切り、議題3 議事(2)「2026年度事業計画(案)について」、事務局へ説明を求める。

◆事務局

議題3 議事(2)「2026年度事業計画(案)について」について図書館長から説明。

◇委員長

事務局の報告を受けて、委員の質疑を募る。

◇委員

「ぐるぐる図書館 in 東浦」の利用状況をお伺いしたい。

◆事務局

各所の統計値については集計が困難であるため、詳細は不明であるが拠点の方曰く、手に取ってみている方はいるようである。定期的に図書館の本を団体貸出し、来訪者へ提供しているラソプラザでは、施設内で行われている展示に関する本や、短時間で見ることができる子ども向けのクイズ本などがよく利用されていると聞いている。

◇委員

病院の待合室などで自分も本をよく見ている。このような活動はぜひ継続していただきたい。

◇委員

事業報告を見ると図書館ではイベントや事業が常に新しい試みを取り入れながら、実施されていることがわかり感心している。常に図書館が変化しており、指定管理者になって良かったと感じる。素晴らしいことである。今後も引き続き頑張ってください。

◇委員

電子図書館について、先日の学校図書館教育研究会議では朝の読書の時間に電子書籍を活用している学校があると聞いている。

また、先日の会議でも報告いただいたように、図書館は静かに本を読むところから、人が集まる場所へと少しずつ変わっている。今後も様々なイベントを行っていただきたい。

◇委員

限られたスタッフの中でイベントや企画を実施していて感動した。次年度の親子タイムは素晴らしい事業であると思う。図書館に足を運んでもらえるような、他の企画も行ってもらいたい。

◇委員

展示計画がどれも印象的なタイトルで楽しみにしている。

◇委員

自分も実際に自動貸出機を恐る恐る利用しているが、他の利用者の様子はいかがか。

◆事務局

自動貸出機は、最初は慣れない操作に不安な様子の利用者もいたが、スタッフが操作説明を行うなど対応したことで今は問題なく運用できている。人を介さずに貸出をしたい人は自動貸出機を便利に利用しているようであるし、コミュニケーションをとりたい人は窓口に来てスタッフに話して帰っていく方も見られている。窓口で利用者と直接話す機会が減った分、スタッフにはあいさつや館内での声かけを心掛けるよう指導している。

◇委員

自動貸出機では15冊まとめて貸出できるか。

◆事務局

システムの仕様で一度に貸出できるのは最大10冊までである。

◇委員

返却ボックスは自動で返却されるのか。

◆事務局

返却ボックスは投入した資料のICチップを読み取り、ICによる返却がされる仕組みである。正常に読み取りが行われた資料は、利用者の貸出記録からは返却済とされるため、すぐに新しい本を借りることができる状態となる。

◇委員長

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣言。

◆学び支援課長

図書館協議会委員の任期について説明。

◆事務局

挨拶を行い、会議の終了を宣言する。